

いい仕事(勉強)ができていますか

「あれ、ここにあったはずだけど……どこへ行ってしまったんだろう」などと、お目当てのものが見つからず、困ったことはありませんか。共同で使うものは特にそうなりますよね。「ここにあるはず」というところにそれがないと、後で使う人が探さなければならなくなります。探す時間や手間がかかるし、自分よりも前に使った人に対するいらだちも募るし……よいことは一つもありません。

そんないやな思いをなくすためには、どうしたらよいでしょうか。簡単ですよ。元あった場所に返せばよいのです。使いたいならほとんど使えばよいのですが、その必要がなくなったら返す、ただそれだけのことです。それができないと、物事は順調に進みませんし、周りの人を不快にさせます。使ったものを元あった場所に返すこと、それがあなたにはできていますか。振り返ってみてください。

左下の写真は、二年D組教室横の手洗い場の様子です。掃除に必要なスポンジ、ウエス、スクイジーが一か所にまとめてあります。天井の丸穴を利用してピンチハンガーがぶら下げられ、スポンジやウエスがかけられていることは、乾きやすい分非常に衛生的であると言えます。そして、何と言っても、次に使う時にすぐに手に取れるので気もちよく使うことができます。

朝、校内巡視をしている私は、二年D組の教室の次に、必ずこの手洗い場のこれらの掃除道具を確認することになっています。いつ見てもこのように片づけられていることに感心しています。

それを見るたびに、どんな生徒がこれらの掃除道具の担当者なのか知りたくなってきます。ささいなことかもしれませんが、こういうことが将来職に就いた時に、いい仕事ができるかどうかを決めるのではないかと思っています。

皆さんは個人ロッカーを整理整頓すべきだとはわかっていると、思います。しかし、どうしてそうしなければならぬのでしょうか。周りから口うるさく言われるから？自分のロッカーだけ乱れていると仲間に迷惑をかけるから？そのレベルで終わっていたら、自分にとってプラスになることはほとんどありません。

私はこう思います、ロッカーを整理整頓するのは、いい仕事(勉強)ができるようにするためだと。整っていそうに見えても、教科書やワーク、ファイルやプリントが無造作に突っ込まれているだけのロッカーでは、よい仕事(勉強)ができているとは思えません。仕事(勉強)に使うものが大切にされ、使いやすい状態になっていることが、その後の仕事(勉強)の出来栄えに大きく関係するのです。

ロッカーだけでなく、ファイルの中、机の中、カバンの中、そして、あなたの部屋の中も同じです。あなたはよい仕事(勉強)ができていますか。

(十月十九日 記)

